

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2011.10.20

No. 55

会社を直ぐ辞めないこと



先日の学校祭中に先輩達が何人か進路室にも顔を出してくれました。その中で何人かが友人の情報も含め会社を辞めたという話を聞きました。私が企業まわりをしている際も幾つかの会社からそうした情報を得ていましたが、私の知らないところでも何人かが辞めたという話を聞きました。

会社に求人をお願いしているときに多くの企業は「高卒の生徒は直ぐに会社を辞めてしまい、あまり求人をしたくない」といわれます。

入るときは合格できたということで喜びを感じますが、時間が経ち色々な友達から他の会社の様子を聞くうちに次第に他の会社の方が良く見え、辞めてしまうというケースが少なくないでしょう。先日来た先輩達も「給料が安い」「休みが少ない」等々の不満を愚痴って行きました。誰しも直ぐ他の人と比較したがるものです。また人間誰しも他人の芝は良く見えるものです。楽をして多くのお金がもらえるならばそんな良いことはありませんが、世の中そんなに甘くありません。

転職によりよくなることもあります。今のような時代は一つ間違えると辞めたはよいが次の職が探せない時代でもあります。石の上にも三年といわれますが、ある程度我慢することも大切です。まだ会社が決まらない人も多くいる中でこんな話をしてもと思いますが、出来るだけ会社は辞めないで欲しいものです。特に早々に辞められると後輩の進路に響きます。



進学者は受験報告書等の提出を

進学者ですでに受験に行った人も何人かいると思いますが、進学者の受験報告書等の書類の提出があまり成されていません。また合格した後合格証が高校に来ない学校も多いために、進路でもどうなっているのか状況がつかめないケースが少なくありません。出来れば進路室に合格書のコピーを出してください。

進学者はあまり進路室の手を経ることが少ないためについ係としても見落としがちですが、これから書類の提出をお願いします。

二次試験で動いていない人は進路室へ相談を

一次試験がうまくいかず、二次試験以降全然動いていない人が数名います。多くの生徒はすでに二次の見学や応募書類を出してある中で、動きの止まった人は、進路室に相談に来て下さい。ただし、どこの会社でも希望すれば、受験できるわけではなく、会社によっては学校として推薦できない場合もあることを承知しておいてください。

勉強にしろ何にしろ、
最初の一步を踏み出した時点で、
目標の半分は終わっています。

もし百のステップがあるとしたら、
最初の一步を踏み出した時点で
半分の五十ステップくらい
終わったのと同じことなのです。
そこまで昇ってこられれば、
目標まであとひとつがんばりです。
だからこそ、最初の一步を踏み出し、
それを確実なものにすることが肝心
なのです。

(できる人の勉強法、安河内哲也)